2022年度　授業シラバス

科目名	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

世界を視野に入れたビジネス展開や将来を考えるうえで、「英語力」や「異文化理解」の習得は欠かせません。目指す業界の最新情報を海外サイトや英語文献で得ることや、SNSにて海外の方と繋がることもあるでしょう。将来、多国籍の人々と仕事をするためにも、文化や考え方の違いを理解・尊重できる「グローバルマインド」と、自身の意見を伝えられる「コミュニケーション力」を兼ね備える力をつける為の授業です。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

【教員の略歴】

英会話講師（留学事前研修指導、コミュニケーション、英検、Toeic, Toefl 等）小学校から大学まで幅広い教育現場で講師を務める。
Toeic 950, 英検1級、公認心理師取得。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	Be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ出身地をたずねる表現を学ぶ 個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶBe 動詞を学ぶ、復習する疑問代名詞[What]の使い方を学ぶ		①	「現在進行形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ自宅周辺の生活について話す 「現在進行形」疑問文を学ぶ旅行について話す	
②	/i/ と /I/の発音を学ぶホテルチェックインに使う表現を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く大文字、ピリオドの使い方を学ぶ		②	-ing]の発音を学ぶ電話でニュースを伝える 最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く	
③	・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」・前期発表と連動する内容 「はい」「いいえ」で答える質問における [Is / Are]の使い方を学ぶ家族について話す		③	・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について話す」・後期発表と連動する内容 [Can / Can't]（能力）を使う陳述文・疑問文を学ぶ自身のスキルや能力について話す	
④	[Is / Are]の否定形を学ぶ友達や家族について話す 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ言い直すに関する言葉を学ぶ		④	[Can / Can't]（可能性）を使う陳述文・疑問文を学ぶ職場・学校において、できること・できないことについて話す 自分の意見を述べる自分はある仕事の適任者であることを説明する	
⑤	友達の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとる場所に関する前置詞を学ぶ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」・前期発表と連動する内容		⑤	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書く ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて話す」・後期発表と連動する内容	
⑥	所有形容詞（'s & s'）を学ぶ家について話す [it is]の使い方を学ぶ家具について話す		⑥	[This / These]の使い方を学ぶ休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ；使い分けがわかる旅行計画を立てる	
⑦	飲み物・スナックをお勧めする/もらう表現を学ぶ分からない単語について質問する ホームシェアについてのメールを読む、書く		⑦	お店で情報を確認するもう一回言ってもらえる表現を学ぶ 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く	
⑧	・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「新居の家具を選ぶ」・前期発表と連動する内容 「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we)好きな事について話す		⑧	・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」・後期発表と連動する内容 be going to]（陳述文）の使い方を学ぶ週末に向けたアウトドア活動の計画について話す	
⑨	「現在形」疑問文を学ぶ (I, you, we)技術の使い方を説明する 連絡を取り合う方法について話す相手の話を聞いていることを示す		⑨	[be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ旅行の時に着る服装について話す あることをやってはいけない理由を説明する	
⑩	商品のレビューを読む、書く ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」・前期発表と連動する内容		⑩	オンラインでの招待状を読む、書く ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画し、発表する」・後期発表と連動する内容	
⑪	「現在形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ (he, she they)平日、週末のアクティビティについて話す 「現在形」疑問文（yes/no / WH-question)を学ぶ時間・ルーティンについて話す		⑪	「過去形」(was / were)の陳述文を学ぶ過去にあった人、ことについて話す 「過去形」(was / were)の疑問文を学ぶ色、記憶について話す	後期試験
⑫	頻度副詞を使い、質問に短く答える賛成を表す表現を学ぶ共通点を表す表現を学ぶ 日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く		⑫	次の発言を考えるときに使う代用語を学ぶ映画、俳優について話す 思い出の品についての記事やメールを読む、書く	
⑬	・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」・前期発表と連動する内容 [There (is, are), (a lot, some no)]の使い方を学ぶ町にある場所について話す		⑬	・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「子どもの頃から見ているTV番組について発表する」・後期発表と連動する内容 「過去形」の陳述文を練習するスナック、軽食について話す	
⑭	「可算名詞・不可算名詞」を学ぶ近所にある自然について話す 道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ情報を確認する	前期試験	⑭	「過去形」の疑問文を練習するレストランでの食事について話す [so / really]（強調する）の使い方を学ぶ食べ物・飲み物を注文する	
⑮	場所についての特徴について読む、書く Time to Speak：前期発表		⑮	レストランのレビューを読む、書く Time to Speak：後期発表	

準備学習 時間外学習	実力をつけるためには、日々英語に触れることが必要です。 授業外でも自己学習に取り組みましょう。 オンデマンドの配信授業もあります。	評価方法	①Listening（リスニング力）②Writing（筆記力） ③Reading（読解力）④Speaking（会話力）
受講生への メッセージ	TOEICブリッジというテストを利用しレベル別クラスを実施します。 自分のレベルにあった授業を受けましょう。	使用教科書 教材 参考書	EVOLVE1

2022年度　授業シラバス

科目名	コミュニケーションスキル	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。
社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。

【到達目標】

企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。

【教員の略歴】

秘書検定1級・サービス接遇検定1級を取得後、大学・専門学校で約15年ビジネスマナーや就職指導の授業を担当しています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ガイダンス・コミュニケーションとは？　挨拶・おじぎ		①	4章　社会的スキルⅡ　6～7	
②	2章　基本スタイルⅠ　1～3		②	4章　社会的スキルⅢ　1～2	
③	2章　基本スタイルⅠ　4～6		③	4章　社会的スキルⅢ　3～5	
④	2章　基本スタイルⅡ		④	4章の復習問題	
⑤	3章　自己表現スキルⅠ　1～3		⑤	サービスマインドⅠ　1～4	
⑥	3章　自己表現スキルⅠ　4～6		⑥	サービスマインドⅡ　1	
⑦	3章　自己表現スキルⅡ　1～3		⑦	サービスマインドⅡ　2～3	
⑧	3章　自己表現スキルⅡ　4～6		⑧	直前対策　模擬テスト	検定予定
⑨	3章　自己表現スキルⅢ　1～2		⑨	検定試験解答とポイント確認	
⑩	3章　自己表現スキルⅢ　3～4		⑩	サービスマインド復習問題	
⑪	1～3章の復習問題		⑪	キャリアとは　ジョハリの窓 自己理解①ソーシャルスタイル理論	
⑫	4章　社会的スキルⅠ1・Ⅱ2		⑫	自己理解②美点凝視シート 自己理解③キャリアアンカー　価値観・生き方	
⑬	前期試験対策		⑬	自己理解④RIASEC　パーソナリティと職業興味 自己理解⑤レジリエンス力　困難を乗り越える私の強み	
⑭	前期試験	前期試験	⑭	自己PR　プレゼンテーション　準備　→発表	
⑮	4章　社会的スキルⅡ　3～4		⑮	プレゼンテーション続き（発表）	

準備学習 時間外学習	常日頃から実践してください。	評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ筆記試験点数を加算する。
受講生への メッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定

2022年度　授業シラバス

科目名	ビジネスコンピューター	必修選択	必修	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。
各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。

【到達目標】

実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。

【教員の略歴】

IT講師として、小・中・高・大学、専門学校までの教育機関、企業・官公庁研修、社会人教育、一般市民講習と言った幅広い年齢層対象の様々な講習を担当。資格保有数は50を超え、IT資格のみならず、キャリアコンサルタント・コーチング・秘書検定などの資格も保持しており、関西では40以上の学校で講義経験を持つ。滋慶学園グループでは、2000年から主にIT授業や就職支援講座、キャリア面談を担当しており、MOS対策講座では毎回100%の合格者を出している。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	授業ガイダンス・環境確認・データ配布		①	Excel第1章　Excelの基本操作	
②	Word第1・2章　Wordの基本操作、文章の編集		②	Excel2章　数式の作成	
③	Word第3章　表現力のある文書作成		③	Excel第3章　表の編集	
④	Word第4章　図形の応用		④	Excel第4章　グラフの作成	
⑤	Word第5章　表の作成		⑤	Excel第5・6章　印刷・ワークシートの操作	
⑥	Word第6章　Wordの便利な機能		⑥	Excel第7章　いろいろな関数	
⑦	Word第7章　SmartArtグラフィック		⑦	Excel第8・9章　Excelの便利な機能	
⑧	Word総復習課題		⑧	Excel総復習課題	
⑨	前期試験準備のための模擬試験		⑨	Excel総復習課題	
⑩	前期試験準備のための模擬試験		⑩	後期試験準備のための模擬試験	
⑪	Word第8章　表の応用		⑪	後期試験	後期試験
⑫	Word第9章　文書をサポートする機能		⑫	Excel第10・11章　Excelの活用・復習課題	
⑬	Word総復習課題		⑬	Excel第10・11章　Excelの活用・復習課題	
⑭	前期試験（Word）	前期試験	⑭	Excel総復習課題	
⑮	Word総復習課題		⑮	Excel総復習課題	

準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、 臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2019・Excel2019 USBメモリ必携

2022年度　授業シラバス

科目名	映像表現	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
即戦力になる為の機材の扱い方、仕事への心構えなどを中心に、実践をメインとした学習

【到達目標】
ロケにおけるカメラアシスタントの役割の理解及びENGカメラの構造の理解。
ロケにおける音声・照明機材の使用方法について。
＊現場への即戦力を育てる！

【教員の略歴】
映画の撮影部として活動する傍ら、いち早くドローンの可能性を感じスキルを習得。現在は第一線のドローンカメラマンとして活動する。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ENGについて・ケーブルの巻き方		①	ENG音声の基本	
②	三脚の取扱い		②	音声の応用	
③	ホワイトバランス・基本操作		③	ENG照明の基本	
④	走査線・TC・NDとは		④	照明の応用	
⑤	外ロケ		⑤	音声・照明を使ったロケ体験	
⑥	これまでのおさらい		⑥	音声・照明を使ったロケ体験	
⑦	1Kの合わせ方・イマジナリーライン		⑦	音声・照明を使ったロケ体験	
⑧	レンズ交換・被写界深度		⑧	ロケ体験撮影　総括	
⑨	台本にそっての撮影		⑨	クロマキー撮影	
⑩	台本にそっての撮影（屋内・屋外）		⑩	1年間の振り返り	
⑪	台本にそっての撮影		⑪	試験前対策	
⑫	前期試験（今までのおさらい）	前期試験	⑫	後期試験（実技）	後期試験
⑬	30秒動画		⑬	台本にそっての撮影（音声・照明使用）	
⑭	前期の振り返り		⑭	テーマにそっての自由撮影（音声・照明使用）	
⑮	テーマにそって自由撮影		⑮	テーマにそっての自由撮影（音声・照明使用）	
準備学習 時間外学習	TVを見ましょう。 自分の好きなジャンルだけでなく幅広く。		評価方法	出席率・授業態度・テストでの評価	
受講生への メッセージ	実技がメインの授業です。 学校内だけでなく外に出る事もあります。 動きやすい服装・靴などを心掛けて下さい。		使用教科書 教材 参考書	PMW-320K/EX1R/C300などのカメラ 音声・照明機材	

2022年度　授業シラバス

科目名	映像基礎知識	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

コンピュータを使った映像の仮想編集（ノンリニア編集）の基礎を学びます。撮影・録音した映像や音声のデータの取り込みから、様々な加工を経て完成品の出力までを扱います。前期は主にPremiereを用いたタイムシーケンスの作成を、後期はPhotoshop、Illsutrator、After Effectsを用いてよりグラフィカルなタイムベースドデザインの基本を学びます。

【到達目標】

定番のアプリケーションであるAdobeのPremiereを中心に、Photoshop、Illustratorなどを使えるようになることが目標です。

【教員の略歴】

フリーランスで、映像やグラフィックデザインの制作を請け負う。PR映像、研修映像、舞台演出映像など。作家として短編映画や映像を用いたインスタレーション作品を発表。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	映像編集概論		①	静止画像の基本　ビットマップとベクトル【Ps】【Ai】	
②	クイックツアー（1）撮影と取り込み		②	画像の解像度とトリミング、レタッチ【Ps】	
③	クイックツアー（2）タイムラインの構築【Pr】		③	選択範囲と切り抜き【Ps】	
④	クイックツアー（3）その他の加工と音の調整、書き出し【Pr】		④	フィルタとレイヤー効果、文字表現【Ps】	
⑤	ディジタル映像の基礎知識と静止画について【Pr】【Ps】		⑤	基本オブジェクトと文字表現【Ai】	
⑥	編集点の追求　アクションつなぎとトリックムービー【Pr】		⑥	直線を使った描画【Ai】	
⑦	動きの方向性と音による演出【Pr】		⑦	曲線を使った描画【Ai】	
⑧	速度の変化【Pr】【AE】		⑧	モーショングラフィックス（1）基本トランスフォーム【AE】	
⑨	色調補正とその他のエフェクト、トランジション【Pr】		⑨	モーショングラフィックス（2）親子関係と速度の変化【AE】	
⑩	テロップと合成、モーション【Pr】【Ai】【Ps】		⑩	モーショングラフィックス（3）マスクアニメーション【AE】	
⑪	前期最終課題（1）		⑪	音と書き出し【AE】	
⑫	前期最終課題（2）	前期試験	⑫	さまざまなエフェクト【AE】	
⑬	マルチカム編集（1）【Pr】		⑬	後期最終課題（1）	後期試験
⑭	マルチカム編集（2）【Pr】		⑭	後期最終課題（2）	
⑮	合評		⑮	合評・特殊効果について	

準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	出席状況、授業に取り組む姿勢、課題により総合的に評価します
受講生への メッセージ	コンピュータを使った作業・表現が上達する条件は根気と慣れです。授業内課題はもちろん、その他の自主制作など積極的に編集作業に関わってください。やればやるほど、上手くなりますし、面白くなってきます。	使用教科書 教材 参考書	特になし（適宜プリントを配布）

2022年度　授業シラバス

科目名	グラフィックデザイン	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

デザインソフトである、「イラストレーター」「フォトショップ」を使用し、
基本的な使い方から応用までを学びます。

【到達目標】

イラストレーターおよびフォトショップの基礎を身に付け、
ポスター・チラシ・パッケージデザイン制作力を身に付ける。

【教員の略歴】

映像ディレクター・エディターとして、ミュージックビデオ、
TV番組、TVCM、企業VPなど幅広い映像制作に携わる。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介、Mac 基礎		①	Photoshop 基礎 ① レイヤーの操作	
②	Illustrator 基礎 ① 基本的なツール習得		②	Photoshop 基礎 ② 色の設定と描画の操作	
③	Illustrator 基礎 ② 図形、立体図形の制作		③	Photoshop 基礎 ③ 選択範囲をマスターする	
④	Illustrator 基礎③ キャラクターの制作		④	Photoshop 基礎 ④ 文字とパス、シェイプ	
⑤	Illustrator 基礎 ④ オリジナル名刺の制作		⑤	Photoshop 基礎 ⑤ グラデーションとパターン、フィルターについて	
⑥	Illustrator 基礎 ⑤ フォント・文字組みについて		⑥	Photoshop 基礎 ⑥ マスクと切り抜き	
⑦	Illustrator 基礎 ⑥ TV番組タイトルの制作1		⑦	Photoshop 基礎 ⑦ TVテロップ制作1	
⑧	Illustrator 基礎 ⑦ TV番組タイトルの制作2		⑧	Photoshop 基礎 ⑧ TVテロップ制作2	
⑨	Illustrator 基礎 ⑧ 企業ロゴの制作1		⑨	Photoshop 応用 ① 写真の修正・加工・合成	
⑩	Illustrator 基礎 ⑨ 企業ロゴの制作2		⑩	Photoshop 応用 ② 応用作品の制作1	
⑪	Illustrator 基礎 ⑩ クリッピングマスクの習得		⑪	Photoshop 応用 ③ 応用作品の制作2	
⑫	Illustrator 基礎 ⑪ カフェメニューの制作（練習）	前期試験	⑫	後期課題制作 ① 課題グラフィックデザイン制作	
⑬	前期課題制作 ① オリジナルカフェメニューの制作1		⑬	後期課題制作 ② 課題グラフィックデザイン制作	後期試験
⑭	前期課題制作 ② オリジナルカフェメニューの制作2		⑭	後期課題制作 ③ 課題グラフィックデザイン制作	
⑮	補足（復習日）		⑮	補足（復習日）	

準備学習 時間外学習	長期休暇中の制作課題	評価方法	課題提出率、平常の成績、及び出席状況を総合して評価
受講生への メッセージ	この授業では映像制作においても重要な「デザイン」を学びます。 テレビ番組のロゴやテロップ、名刺やポスターなどを、自分で作れるように丁寧に教えますので、ぜひ一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	Adobe Photoshop、Adobe Illustrator

2022年度　授業シラバス

科目名	2DCG制作	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

モーショングラフィックのソフトであるAfterEffectsを使用し、
基本的な使い方から、応用までを学びます。

【到達目標】

AfterEffectsの基礎習得および応用

【教員の略歴】

映像ディレクター・エディターとして、ミュージックビデオ、
TV番組、TVCM、企業VPなど幅広い映像制作に携わる。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介、Mac 基礎		①	AfterEffects 応用 ① 3Dモーショングラフィックを作る	
②	AfterEffects 基礎 ① トランスフォームの操作		②	AfterEffects 応用 ② 3Dモーショングラフィックを作る	
③	AfterEffects 基礎 ② 2Dモーショングラフィックを作る		③	AfterEffects 応用 ③ 3Dモーショングラフィックを作る	
④	AfterEffects 基礎 ③ 2Dモーショングラフィックを作る		④	AfterEffects 応用 ④ エフェクトで背景を演出する	
⑤	AfterEffects 基礎 ④ コンポジションを出力する		⑤	AfterEffects 応用 ⑤ エフェクトで背景を演出する	
⑥	AfterEffects 基礎 ⑤ テキストアニメーションを作る		⑥	AfterEffects 応用 ⑥ 映像を切り抜いて合成する	
⑦	AfterEffects 基礎 ⑥ テキストアニメーションを作る		⑦	AfterEffects 応用 ⑦ 映像を切り抜いて合成する	
⑧	AfterEffects 基礎 ⑦ カウントダウンアニメーションンを作る		⑧	AfterEffects 応用 ⑧ エクスプレッションでアニメートさせる	
⑨	AfterEffects 基礎 ⑧ カウントダウンアニメーションンを作る		⑨	後期課題制作 ① モーショングラフィック制作	
⑩	AfterEffects 基礎 ⑨ 写真を使ったスライドショーを作る		⑩	後期課題制作 ② モーショングラフィック制作	
⑪	AfterEffects 基礎 ⑩ 写真を使ったスライドショーを作る		⑪	後期課題制作 ③ モーショングラフィック制作	
⑫	前期課題制作 ① モーショングラフィック制作	前期試験	⑫	後期課題制作 ④ モーショングラフィック制作	
⑬	前期課題制作 ② モーショングラフィック制作		⑬	後期課題制作 ⑤ モーショングラフィック制作	後期試験
⑭	前期課題制作 ③ モーショングラフィック制作		⑭	後期課題制作 ⑥ モーショングラフィック制作	
⑮	補足（復習日）		⑮	補足（復習日）	

準備学習 時間外学習	長期休暇中の制作課題	評価方法	課題提出率、平常の成績、及び出席状況を総合して評価
受講生への メッセージ	この授業では映像制作において重要な演出効果である「モーショングラフィック」を学びます。かっこいいと思えるような映像を作れるように丁寧に教えますので、ぜひ一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	Adobe AfterEffects Adobe Photoshop 、Adobe Illustrator

2022年度　授業シラバス

科目名	3DCG制作	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
CG制作のワークフローを理解し、3DCG制作に必要な基礎知識を習得する。

【到達目標】
3ds Maxの基礎を習得し、一人で一通りのオペレーションできるようになる。

【教員の略歴】
CGを使ったOP制作から、番組内に使用される動画、静止画の制作に携わる。
様々なアニメ作品に携わる。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	【名前LOGOアニメーション】・CG制作のワークフロー 3dsmaxの基礎知識・モデル制作	①	【キャラアニメーション】作画素材を基に3DCGの合成 カメラ設定・レンダリング・AE編集
②	【名前LOGOアニメーション】・シーンの組方・テクスチャ カメラ設定・アニメーション制作	②	【キャラアニメーション】実写合成写真 カメラ設定・三点照明
③	【名前LOGOアニメーション】・アニメーションカーブ ライト設定・3dsmaxレンダリング設定・保存方法	③	【キャラアニメーション】実写合成写真 レンダリング・AE編集
④	【魚のアニメーション】 モデル制作	④	【ロボットアニメーション】 モデル制作
⑤	【魚のアニメーション】 テクスチャ制作	⑤	【ロボットアニメーション】 モデル制作
⑥	【魚のアニメーション】 ボーン設定	⑥	【ロボットアニメーション】 テクスチャ制作・ボーン設定
⑦	【魚のアニメーション】 ボーン設定・アニメーション制作	⑦	【ロボットアニメーション】 テクスチャ制作・ボーン設定
⑧	【魚のアニメーション】 アニメーション制作・3dsmaxレンダリング・AE編集	⑧	【ロボットアニメーション】 形状変形　アニメーション制作
⑨	【キャラアニメーション】 イメージボード制作・モデル制作	⑨	【ロボットアニメーション】 形状変形①　アニメーション制作
⑩	【くす玉のアニメーション】 エフェクト制作・AE編集	⑩	【ロボットアニメーション】 形状変形①　アニメーション制作
⑪	【キャラアニメーション】 テクスチャ制作・ボーン設定	⑪	【ロボットアニメーション】 形状変形②　アニメーション制作
⑫	【キャラアニメーション】 テクスチャ制作・ボーン設定	⑫	【ロボットアニメーション】 形状変形②　アニメーション制作
⑬	【キャラアニメーション】 歩く・走る アニメーション制作	⑬	【ロボットアニメーション】 カメラ設定　・AE編集　・ブラッシュアップ
⑭	【キャラアニメーション】 歩く・走る アニメーション制作	⑭	【ロボットアニメーション】 レンタリング
⑮	前期の講評	⑮	1年間の講評 春休みの授業計画

準備学習 時間外学習	3DCG制作ではCGのソフトだけでなく、様々なソフトも使用します。 習得するには、たくさん覚えなければならないことがあり、技術面でもたくさん練習しなければ上達しません。 授業内では、きちんとメモを取り、一人でもオペレーションできるように復習をしてください。	評価方法	出席率 個々の作品の完成と、提出
受講生への メッセージ	CG制作では制作するモチーフを、たくさん観察し、知ることがとても重要になってきます。分からない時には、可能であれば実際にモチーフを触ってみて下さい。重さや触感、動き方の仕組みを知ったりと、学ぶことはたくさんあります。人のアニメーションを付ける時には、鏡の前に立ち自分自身の動きを観察して下さい。時には自分自身をビデオカメラで撮影してみるのもいいです。人間観察もたくさんして下さい。	使用教科書 教材 参考書	ノート、筆記用具、ハードディスク

2022年度　授業シラバス

科目名	プログラミング	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
サンプルなどのモデリングからブラッシュアップしてモデリングし3DCGのセンス磨く。

【到達目標】
自由度が高いZbrushを使い立体的にとらえるセンスをみにつける。

【教員の略歴】
フリーランスにてゲームなどの3DCG制作　企業でのシステム管理メンテナンス。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	球体から各種ブラシを使い操作に慣れる		①	リアルな人体サンプルからの整形1	
②	サブツール等基本機能の説明		②	リアルな人体サンプルからの整形2	
③	2頭身キャラの作成		③	リアルな人体サンプルからの整形3	
④	アニメ調バストアップのサンプルをブラッシュアップ		④	人体構造解説	
⑤	目鼻口の作りこみ		⑤	ペイント彩色	
⑥	全体のバランス解説		⑥	簡単な車の作成（メカ系ブラシ使用）1	
⑦	髪のモデリング方法1		⑦	簡単な車の作成（メカ系ブラシ使用）2	
⑧	髪のモデリング方法2		⑧	簡単な車の作成（メカ系ブラシ使用）3	
⑨	髪のモデリング方法3		⑨	ペイント彩色（mayaにてマテリアル設定含む1	
⑩	髪のモデリング方法4		⑩	ペイント彩色（mayaにてマテリアル設定含む2	
⑪	髪の流れバランス等1		⑪	mayaにてレンダリング、ライティング等1	
⑫	髪の流れバランス等2		⑫	mayaにてレンダリング、ライティング等2	
⑬	デフォルメ家のモデリング1		⑬	mayaにてレンダリング、ライティング等3	
⑭	デフォルメ家のモデリング2		⑭	個々に作品を制作してみる	
⑮	デフォルメ家のモデリング3		⑮	個々に作品を制作してみる	

準備学習 時間外学習	学んだことをしっかり復習して身に付けてください。	評価方法	授業時間内では困難なため、通常授業での総評とします
受講生への メッセージ	すでにポートフォリオでZbrushを使用している学生についてはそちらを優先しどんどん作品を作成していってください授業内で個々に進行状況を見ます。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	インタラクティブ	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

TouchDesignerを使用し、インタラクティブに関する基礎知識を身に着ける。

【到達目標】

TouchDesignerを通じてインタラクティブに関して基礎を学ぶ。

【教員の略歴】

映像、音楽製作/メディアアーティスト、Vocaloidプロデューサー
イベント、ファッションショー、音楽ライブなどのVJ，映像演出、プロジェクションマッピング、近年はV-tuberの技術サポート等

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	Introduction		①	CHOPを使った数値処理①	
②	TouchDesignerとは？		②	CHOPを使った数値処理②	
③	インタラクティブとTouchDesignerについて		③	SOPとCOMP①	
④	公式ドキュメントについて		④	SOPとCOMP②	
⑤	設計コンセプト		⑤	3Dプログラミング①	
⑥	開発環境とインストール		⑥	3Dプログラミング②	
⑦	システムの俯瞰		⑦	ユーザーインターフェイス①	
⑧	基本操作に関して		⑧	ユーザーインターフェイス②	
⑨	新規プロジェクト作成		⑨	課題制作①	
⑩	TOPで画像合成①		⑩	課題制作②	
⑪	TOPで画像合成②		⑪	テスト前復習	
⑫	キーボード・ショートカット		⑫	テスト	後期試験
⑬	テスト	前期試験	⑬	TouchDesignerを使った高度な作品	
⑭	オペレータ		⑭	3Dプロジェクションマッピング①	
⑮	ディクショナリ		⑮	3Dプロジェクションマッピング②	
準備学習 時間外学習	気になるアーティストや目標を見つけておく		評価方法	出席　テスト	
受講生への メッセージ	とにかく楽しみましょう		使用教科書 教材 参考書	USBメモリ	

2022年度　授業シラバス

科目名	音声・音響効果	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
機材についての理解を深める様に実機を使用して授業を行います。

【到達目標】
PAに必要な基礎を学ぶ。

【教員の略歴】
レコーディングエンジニアではあるが、ライブハウス音響、イベント音響も実施
国内インディーズの録音からメジャーアーティスト、台湾アーティストの録音を手がける。 マスタリング作業の仕事も担当

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	PA機材について：各機器の名称及び役割 基本配線		①	エフェクターについて　リバーブ	
②	ケーブルについて　マイクについて		②	エフェクターについて　ディレイ	
③	ケーブルについて　マイクについて		③	エフェクターについて　コンプレッサー/ゲート	
④	ミキサーについて　基本		④	イコライザーについて	
⑤	ミキサーについて		⑤	バンドPAについて①	
⑥	スピーカーについて		⑥	バンドPAについて②	
⑦	アンプについて		⑦	バンドPAについて③	
⑧	簡易PAシステムの構築①		⑧	PA実習①	
⑨	簡易PAシステムの構築②		⑨	PA実習②	
⑩	簡易PAシステムの構築③		⑩	PA実習③	
⑪	簡易PAシステムの構築④		⑪	PA実習④	
⑫	デジタルとアナログについて	前期試験	⑫	PA実習⑤	
⑬	モニターシステム①		⑬	PA実習⑥	後期試験
⑭	モニターシステム②		⑭	PA実習⑦	
⑮	モニターシステム③		⑮	PA実習⑧	
準備学習 時間外学習	機材についての知識も必要ですが、音に関しての感性を磨くために色々なジャンルの音楽を聴いてください。		評価方法	レポート提出と出席率で評価します。	
受講生への メッセージ	わからない用語とか出てきますが、その都度質問してください。		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2022年度　授業シラバス

科目名	マネジメント・プロデュース	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

アーティストをゼロから育成し市場に送り出す、そのステップと必要知識を身につける

【到達目標】

音楽に特化し、アーティストを育てるノウハウを学ぶ。プロデュース能力を身につける

【教員の略歴】

1986-2009年SONY MUSIC ENTERTAINMENT　エピックレコード　プロデューサー。ドラマ「のだめカンタービレ」音楽監督。社会現象に。2010年より沖縄県にて音楽事務所設立。2010年、2014年配信チャート1位等。2010-2015年　日本テレビ放送網と番組プロデュース契約。2019年より大阪移住、新人育成中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	マネジメントは何をするのか 【マネジメント概論】		①	コンテンツ制作①	
②	業界構成図 1		②	コンテンツ制作②	
③	業界構成図 2　求められる人財（各社募集要項）		③	コンテンツプランニング	
④	自分は何を目指すのか		④	撮影①携帯	
⑤	マーケティング①（プランニング対象素材オリエン）		⑤	撮影②携帯	
⑥	マーケティング②（プロフィール/コンポジ）		⑥	編集アプリ①	
⑦	マーケティング③（チーム編成　プランニング）		⑦	編集作業	
⑧	マーケティング④（プランニング）		⑧	編集作業	
⑨	マーケティング⑤（資料作成）		⑨	動画プレゼン	
⑩	マーケティング⑥（資料作成/プレゼン準備）		⑩	ライブシミュレーション（プランニング　セット図・セットリスト・照明プラン）	
⑪	チーム発表		⑪	ライブシミュレーション（プランニング）	
⑫	CMプロモーション[条件交渉）		⑫	ライブシミュレーション（動画撮影）	
⑬	写真撮影技術		⑬	著作権講座	
⑭	映像撮影技術		⑭	アーティストディレクション（パフォーマンス）	
⑮	映像撮影（アーティスト）		⑮	アーティストディレクション（作品）	

準備学習 時間外学習	自分自身でコンテンツ（映像）を残せるように、携帯撮影、編集、SNS発信に積極的に触れていただきたい	評価方法	前期はアーティスト資料およびチームでマーケティングプランをプレゼンする役割分担と内容で評価。後期は映像作品内容で評価。
受講生への メッセージ	今年の授業は、「コンテンツ制作が出来るマネージャー」を目指します。ファンを惹きつける力があるアーティスト・俳優等々の才能と向き合えるクリエイティビティを身につけます。年間を通して制作した映像作品を入社試験に提出できるのが目的です。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	撮影ワーク	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

現在映像業界で多用されている『ドローン』の基本知識、基本操舵の学習から始め、今現在、業界内でも一歩先を行くドローンの撮影技法、ドローンならではの構図、撮影現場での必要とされる知識、技術、交渉方法など、現在から今後に求められるであろうスキルをトータルで学習し、業界内で活躍できる様な人材育成とする。

【到達目標】

ドローンに関する現行法律を完璧にマスターし、法改正などのアップデートに即時対応できる様になる。ドローンの基本的操舵はもちろん、ドローンを用いたカットの提案、撮影のプランニングをできる様になる。

【教員の略歴】

映画の撮影部として活動する傍ら、いち早くドローンの可能性を感じスキルを習得。現在は第一線のドローンカメラマンとして活動する。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ドローンの各部操作方法、飛行前点検、離陸、ホバリング		①	飛行環境の確認方法、天候の予測	
②	ドローンの各部操作方法、飛行前点検、離陸、ホバリング		②	飛行環境の確認方法、天候の予測	
③	ドローンの構造、制御方法、各部の名称、役割		③	基本操舵技術3	
④	ドローンの構造、制御方法、各部の名称、役割		④	基本操舵技術3	
⑤	パラメーターの見方、設定方法		⑤	カメラセクションの設定方法、機種別パラメーターの違い	
⑥	パラメーターの見方、設定方法		⑥	カメラセクションの設定方法、機種別パラメーターの違い	
⑦	飛行に関する法律、条例		⑦	【特殊な撮影方法】飛行時の危険回避、リスクマネージメント	
⑧	飛行に関する法律、条例		⑧	【特殊な撮影方法】飛行時の危険回避、リスクマネージメント	
⑨	【基本操舵技術1】撮影に関する法律、条例		⑨	機体別の特性及び操作方法	
⑩	【基本操舵技術1】撮影に関する法律、条例		⑩	機体別の特性及び操作方法	
⑪	検定・学科、検定・実技	前期試験	⑪	検定・学科、検定・実技	後期試験
⑫	空撮用ドローンの種類、機体別特性、活用方法		⑫	撮影現場での行い、シミュレーション	
⑬	空撮用ドローンの種類、機体別特性、活用方法		⑬	撮影現場での行い、シミュレーション	
⑭	【基本操舵技術2】ドローンカットのプランニング、飛行プラン策定		⑭	映像業界以外でのドローンの活用	
⑮	【基本操舵技術2】ドローンカットのプランニング、飛行プラン策定		⑮	映像業界以外でのドローンの活用	

準備学習 時間外学習	操作になれたら、積極的に校内でフライトしてみましょう。	評価方法	出席率・試験・授業態度
受講生への メッセージ	本物の機体に触れて、実際に飛ばしてドローンの動きを体現し、体で操舵を覚えて下さい。また、実機の大きさやスピードも体験し、「安全」の大切さや、操作する上での「責任感」も養って欲しいです。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	舞台制作	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
イベント制作（舞台機構）というタイトルにはなっているが、それのみに留まらず広く浅く雑学も含めて解り易く学び、芸能に関わるものとしての基本を身につけていく.

【到達目標】
舞台芸術における舞台の成り立ちや舞台用語、ルールなど舞台人としての基礎知識を習得する。

【教員の略歴】
放送業務、ライブハウスのオペレーター、劇団のテクニカルサポート等を実施し某会館の音響技術責任者に就任。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	舞台とは？ 舞台の基礎知識		①	照明の基礎知識 1	
②	歴史から見る舞台 1		②	照明の基礎知識 2	
③	歴史から見る舞台 2		③	舞台、イベント運営について	
④	舞台に関する数字のエトセトラ 尺貫法、舞台用語		④	舞台、イベント運営における損益分岐点分析	
⑤	平台と箱馬、力学的に見る平台の組み方 1		⑤	舞台に関わる法律	
⑥	平台と箱馬、力学的に見る平台の組み方 2		⑥	消防法	
⑦	吊りもの、綱場の構造		⑦	安全確認とリスクマネジメント	
⑧	舞台での安全管理		⑧	後期試験対策 1	
⑨	コネクタによる消費電力量の違い		⑨	後期試験対策 2	
⑩	舞台、放送における様々な技術職		⑩	後期試験対策 3	
⑪	音響の基礎知識 1		⑪	後期試験 筆記試験	後期試験
⑫	前期試験対策		⑫	著作権と肖像権	
⑬	前期試験 筆記試験	前期試験	⑬	一年間の総復習	
⑭	音響の基礎知識 2		⑭	補完講義 1	
⑮	前期の復習		⑮	補完講義 2	

準備学習 時間外学習	時間外学習は必要ないが、普段の生活から様々なことに興味を持ってほしい.	評価方法	各期の筆記試験を中心に受講態度、積極性も判断の基準としたい
受講生への メッセージ	座学中心ではあるが難しい知識のみの講義にならない様、解り易くしていきたい.質問は随時受け付けるので気になった事があれば聞いて欲しい	使用教科書 教材 参考書	プロ音響データブック、その都度必要なプリントは配布する

2022年度　授業シラバス

科目名	ステージワーク	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
前期はアナログミキサーの操作、簡易音響システム構築の習得。
後期はデジタルミキサーの操作、マイクやスピーカーの特性を理解し、効率的な音響システムプランの習得

【到達目標】
音響の基礎知識、アナログ卓の理解、業界人としての心構えなど基礎技術を習得する

【教員の略歴】
ダンスイベントや音楽イベントなど、関西中心に活躍中のPA。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	音響基礎①（使用するアイテムの紹介）		①	前期のおさらい①	
②	音響基礎②（マイク、スピーカーの構造）		②	前期のおさらい②	
③	アナログミキサー①（小型ミキサー）		③	デジタルミキサー①	
④	簡易システム構築		④	デジタルミキサー②	
⑤	電気の基礎（ケーブル、コネクター）		⑤	マイクプラン（素材に合わせた選定）	
⑥	イコライザー、リバーブなど、録音再生機		⑥	スピーカープラン（空間に合わせた構築）	
⑦	アナログミキサー②（大型ミキサー）		⑦	音響プランニング	
⑧	システム構築①		⑧	システムチューニング①	
⑨	システム構築②		⑨	システムチューニング②	
⑩	システム構築③		⑩	実習①	
⑪	ワイヤレスシステム①（操作方法）		⑪	実習②	
⑫	ワイヤレスシステム②（電波について）		⑫	実習テスト	後期試験
⑬	実習テスト	前期試験	⑬	進級公演に向けて①	
⑭	ワイヤレスシステム③（実際の運用について）		⑭	進級公演に向けて②	
⑮	前期まとめ		⑮	後期まとめ	

準備学習 時間外学習	前回学んだことを理解し、分からないところは聞いてください。	評価方法	出席と授業態度を重視します
受講生への メッセージ	放芸の音響は日本一と言われる音響を目指しましょう	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	イベント制作	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
PAの基礎を理論から実践までを講義形式で学ぶ

【到達目標】
PAの基礎を理論から実践までを1年間で習得する。
火曜日の授業に連携して基礎力アップを目指す。

【教員の略歴】
関西のイベントや音楽フェスなど多ジャンルを網羅している音響エンジニア

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	音について①		①	チューニング演習①	
②	音について②		②	チューニング演習②	
③	ケーブル巻き/スタンド立て		③	学内ホールのPAシステムについて	
④	電気の基礎と音響機器について		④	カラオケPAシステムセットアップ①	
⑤	音響機器について		⑤	カラオケPAシステムセットアップ②	
⑥	ケーブルと端子について		⑥	カラオケPA演習	
⑦	マイクについて①		⑦	弾き語り演習	
⑧	マイクについて②		⑧	バンドセットセッティング①	
⑨	簡易システムセットアップ①		⑨	バンドセットセッティング②	
⑩	簡易システムセットアップ②		⑩	復習	
⑪	ワイヤレスシステムについて①		⑪	バンド演習に向けて①	
⑫	演習テスト	前期試験	⑫	バンド演習に向けて②	
⑬	ワイヤレスシステムについて②		⑬	演習テスト	後期試験
⑭	エフェクターについて		⑭	バンド演習	
⑮	システムプランニング		⑮	1年間の総まとめ	

準備学習 時間外学習	授業内容を復習と繰り返し行う	評価方法	実技試験と出席評価
受講生への メッセージ	最初は基礎でなかなか難しいですがしっかりノートを取って 復習すれば必ず理解できるので、1年間頑張ってください。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・音響テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

前期15分、後期30分の番組制作を通して、企画立案、台本作成、撮影、編集など、ディレクター、アシスタントディレクターとしての基本を実践的に学ぶ。

【到達目標】

TV番組制作を通して番組づくりの基礎や技術との
コミュニケーション力や指示力を身に付ける。

【教員の略歴】

ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。
現在、映像クリエーターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	番組制作の流れ、班分け、企画立案・作成		①	プレビュー・反省会	
②	番組・企画内容発表、スケジュール、台本作成①		②	番組・班分け、企画立案作成 企画内容発表、スケジュール、台本作成	
③	番組・企画内容発表、スケジュール、台本作成②		③	制作期・撮影準備、技術打合せ	
④	台本作成、キャスティング、ロケハン等①		④	制作期・撮影	
⑤	台本作成、キャスティング、ロケハン等②		⑤	制作期・撮影	
⑥	撮影準備、技術顔合せ～打合せ		⑥	制作期・撮影	
⑦	VTR収録準備・技術打ち合わせ		⑦	制作期・撮影、編集	
⑧	VTR収録準備		⑧	制作期・編集	
⑨	VTR ロケ収録①		⑨	制作期・編集	
⑩	VTR ロケ収録②		⑩	制作期・編集　画完パケ	
⑪	VTR ロケ収録③		⑪	制作期・MA	
⑫	制作期・VTR編集		⑫	制作期・MA	後期試験
⑬	制作期・MA	前期試験	⑬	制作期・MA	
⑭	スタジオ収録準備①		⑭	制作期・完パケ作業	
⑮	スタジオ収録本番		⑮	プレビュー・反省会	
準備学習 時間外学習	各班の制作に準ずる		評価方法	出席率と授業への取り組み方、協調性	
受講生への メッセージ	自由な発想で、番組制作を楽しみましょう。		使用教科書 教材 参考書	テレビモニター、台本作成、編集用PC	